

札幌支店 「農業経営アドバイザーに
求められる支援」を学ぶ

札幌支店が事務局を務める北海道農業経営アドバイザー連絡協議会「かけはし」が勉強会を開催。農林漁業のコンサルティングをおこなう株式会社食農夢創代表取締役の仲野真人氏が登壇し、農業経営アドバイザーに求められる支援について話しました。

仲野氏は実例をもとに、農林水産物に新たな価値を創造して事業の展開に結びつけ、国や地方が抱える問題の解決に努める姿勢が求められると力説しました。農業経営アドバイザーが「かけはし」として役割を再認識する機会になりました。(10月12日)



仲野氏の講義風景。会場とオンラインで30人が参加しました

佐賀支店 経営発展の方策について
県の垣根を越え意見交換

佐賀県農業法人協会の若手経営者で構成する「佐農人令和会」と、滋賀県の農業法人を対象とした「リスペクトの会」が県内で共催した合同研修会を支援。九州農政局佐賀県拠点による「佐賀県農業の概要」の説明の後、一般社団法人日本農業情報システム協会理事の渡邊智之氏が農業DXをテーマに講演し、経営発展の方策についての意見交換がおこなわれました。

「スマート農機は費用対効果検証のうえ、必要性を検討すべき」「従業員に仕事を任せるための仕組みづくりが必要」などの声がありました。(11月7日)



意見交換をおこなう佐賀県と滋賀県の若手経営者ら22人が参加しました

千葉支店 「お客さま交流会」を
4年ぶりに開催

公庫のお客さまと県内の関係機関が集う「令和5年度お客さま交流会」を一般社団法人千葉県農業協会と共催。4年ぶりとなる今回は134人が参加しました。

講演会には気象予報士で防災士の久保井朝美氏が登壇。「気象キャスターが解説！ 農林漁業に役立つ気象の話」と題し、長期予報の見方や千葉県における霜注意報の発令の基準などを解説しました。

「最近気象災害が多いので、今後の対策のために非常によかった」「皆が集まる貴重な機会。ぜひ今後も続けてほしい」との声が寄せられました。(11月16日)



講演会後の懇親会では、さまざまな業種の方が活発に情報交換をしました

静岡支店 輸出に向けて役場が
有機茶へ転換を後押し

主要産業である茶産業における輸出向け有機茶の需要伸長を見据え、川根本町では有機茶の生産拡大を推進しています。また、有機農業推進を図るため、年間を通じて「有機農業研修会」を開催しています。30人の農業者が参加した2023年第3回の研修会には公庫職員が登壇し、「農業経営の改善に向けて」新たな分野に取り組む際の観点などをテーマに講演しました。

講演後の個別相談会では、慣行農法から有機茶に転換した場合の労働力の違いなどについて相談が寄せられました。(11月16日)



後日、支店事業統轄が町長を訪問し、地域の茶農家の現状と課題解決について意見交換しました



事業承継事案を基にしたケースワークなど実践的な内容となりました

高松支店 農業経営分析について JA職員向け勉強会を支援

J A香川県から依頼を受け、営農支援や営農相談活動に取り組みたい手サポーターやJA職員のスキルアップを目的とした「農業経営実態分析研修会」を支援しました。公庫本店職員が講師となり、マーケティング手法の一つであるSWOT分析を活用した農業者の実態把握・課題整理をグループワークでおこないました。

参加者した12人からは、「農業を取り巻く環境は厳しく、コンサルティンクがますます必要とされる。研修で学んだことを今後の業務に生かしていきたい」との感想が寄せられました。(11月17日)

広島支店 就農の心構えなどについて 農業技術大学校で出張講義

広島県立農業技術大学校の「営農設計と分析A」の授業で、毎年公庫職員が出張講義をしています。中国四国農政局広島県拠点と連携した今年の授業には、園芸・畜産課程の2年生15人が出席しました。公庫からは「就農時の心構えや経営計画策定の重要性」について解説し、農政局からは「日本の農林水産業の現状と課題」などについて、県内の事例を紹介しながら説明しました。

受講生からは「国の施策や新規就農者の生の声に触れ、計画策定の重要性も実感できた」などの感想が寄せられました。(11月20日)



グループワークで熱心に意見を出し合う受講生たち

甲府支店 アニマルウェルフェアの 取り組みを知る勉強会

山梨県農業経営アドバイザー連絡協議会が県農業法人協会会員と勉強会を開催。22人が参加しました。アニマルウェルフェアの認証制度を自治体として初めて策定した山梨県と普及に尽力する県畜産協会が、地域の現状と課題などを説明。また、国内で初めてオーガニック養鶏を始めた有限会社黒富士農場(甲斐市/採卵鶏)専務取締役の向山一輝氏が、自社の取り組みについて話しました。

その後の意見交換会では、県農業法人協会会員から寄せられた経営の悩みや課題に農業経営アドバイザーが回答しました。(12月12日)



農業経営アドバイザーからは「専門分野の支援の在り方を考えるよい機会になった」との感想も

盛岡支店 世界に羽ばたく岩手の食 マレーシアでフェア開催

岩手県庁、イオンスーパーセンター株式会社(本社・盛岡市)と連携し、県産食材の輸出強化や海外への販路拡大を目的とした「いわてフェア」をマレーシアで開催。公庫のお客さまなど28先が、約100品を出品しました。

リンゴや米など県産の農産物が所狭しと並べられ、県産和牛の即売会もおこなわれました。参加者からは「冷麺や湯葉などに興味を引かれた。今後も購入したい」、また、関係者からは「過性のものにならないよう魅力を発信し続けることが必要」との声が寄せられました。(12月14日~27日)



一番人気だった岩手県産のリンゴ

災害のお見舞い

令和6年能登半島地震による災害により被害を受けた皆さま方に、心よりお見舞い申し上げます。

日本公庫農林水産事業では、このたびの災害により被害を受けた農林漁業者などの皆さまを対象に、相談窓口を設置しています。

ご融資やご返済に関する相談に、政策金融機関として迅速かつきめ細やかな対応を行ってまいります。

次号予告 春2号(6月発行)

「食品産業の国産原材料の利用動向(仮)」

輸入農畜産物の価格高騰や供給不安が見られるなか、食品産業の持続的発展には、国内産地との連携強化による原材料調達の安定化への取り組みが求められる。国産原材料の利用促進に取り組む食品製造業者の事例を踏まえ、今後の課題と可能性を考える。

ご意見募集

今号はいかがでしたでしょうか。感想やご意見をお寄せください。FAX・eメールなどで受け付けています。掲載させていただいた方には薄謝を進呈いたします。

FAX : 03-3270-2350
eメール : anjoho@jfc.go.jp

お問い合わせ先

新潟支店 TEL : 025-240-8511	金沢支店 TEL : 076-263-6471
富山支店 TEL : 076-441-8411	福井支店 TEL : 0776-33-2385

編集後記

④ 本号特集1の最後の一文は、農業金融に身を置く者として、その使命を見つめ直すメッセージとして受け止めた。担い手確保や生産性向上といった農業界の課題は、地域金融機関のビジネスモデルの課題でもあるのだ。各機関が専門性を生かし、相互に補完し連携することで農業者や地域の課題解決につなげたい。(細谷)

④ 農林漁業者の皆さまを取材し、経営環境の変化もあり課題が年々多様化していることを感じる。そんな皆さまをご支援するには、関係機関の連携などに加えて、現場で直接皆さまと接する各々の立場でどんなご支援ができるか日々考え、成長し続けることが必要だと思う。一金融機関職員として、身の引き締まる思いだ。(高雄)

④ 町の中にある磯沼ミルクファーム。自然ファームとしての魅力を発信する杏さんの姿が印象的でした。地域との共生をめざし、ご自身の信念を貫き着実に歩みを進める姿が多くの人々の賛同を得ているのだと感じました。(澤田)

④ 今号で本誌を離れることになりました。誌面を通して農林漁業者の皆さまの熱い思いや最先端の研究などに触れ、たくさんの刺激をいただけたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。今後は愛読者の一人として応援していきます。(竹中)

冬2号8ページ3段目9行目に誤りがありました。

誤) 8%より下げて3%

正) 8%より下げて5%

読者の皆さま、関係者の皆さまにご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。

AFCフォーラム 2024.4 Forum 春1号

■編集

前川 紘輝 細谷 哲郎 高雄 和彦
大谷 香織 澤田 真理 鈴木 晃子
竹中 夕美 水谷 徳子

■編集協力

金子 弘道

■発行

株式会社日本政策金融公庫
農林水産事業本部

〒100-0004
東京都千代田区大手町1-9-4
大手町フィナンシャルシティ ノースタワー
Tel. 03(3270)2268
Fax. 03(3270)2350
E-mail anjoho@jfc.go.jp

■印刷

株式会社DI Palette 東京本部

*本誌に掲載している記事、写真、図表、データなどをご利用になりたい場合は、事前に当社までご連絡ください。



農

食

をつなぎます

国産にこだわり



第17回 アグリフードEXPO 東京2024

国産農林水産物・食品の商談会

日時 2024年 8月21日(水)・22日(木)
10:00~17:00 10:00~16:00

ご出展者募集中
募集期限：4月19日



会場 東京ビッグサイト 東4ホール 主催 日本政策金融公庫